令和2年度第1回 防災避難訓練

令和２年６月３０日（火）、全日制、定時制、釜石祥雲支援学校との合同で、今年度最初の防災避難訓練を行いました。実際に防火扉を閉じ、普段使わない放送機器や非常階段を使用しての訓練です。防火扉は閉じることで、約１時間にわたり煙や炎を防いでくれますので、火災による避難において大切なことは、即座に防火扉をしめることと、慌てずに安全に避難することです。こうした心がけのもと訓練に臨みました。

避難の様子は次の写真の通りです。生徒の皆さんは非常に落ち着いていました。もちろん訓練ですので当たり前です。しかし、こんな感じで避難するということは身についたはずです。生徒の皆さんは、実際の火災が起こったときは、是非こんな感じで避難して下さい。

知っていても普段やっていないことは、なかなかできないもの！

普段は歩かない階段も確認できました。

いろいろな避難経路で安全に避難できました。

避難完了後、釜石消防署予防課山崎係長より訓練の大切さについてお話がありました。